

# おかちまち たいとう

台東区立御徒町台東中学校 学校だより 第1号

令和7年4月15日(火)

校長 福沢 俊之

TEL 03 (3831) 3787

学校ホームページ



<https://www.taito.ed.jp/1320111>

↑更新中



## 令和7年度の始まりにあたって

校長 福沢俊之

7日(月)には、転入の教職員を紹介する着任式、令和7年度始業式を行いました。翌8日(火)には、穏やかな日の中、104名(3学級)の新入生を迎えての入学式を行い、2年生128名(4学級)、3年生107名(3学級)、計339名(10学級)で新年度が始まりました。時間(時)の流れを循環するものと考えれば、再び巡ってくる節目があり、私たちはその節目を活かして新たに目標を立てたり見直したりしています。学校にも「教育目標」があり、それを踏まえて、どのような学校にしていくか、どのような生徒を育てていくか、目指す方向性を確認します。毎年、大きく変わることはありませんが、むしろ、ぶれることがないように、新学期を迎えるにあたって、必ず行っています。

どのような学校にしていくか - 目指す学校像 -

### 「楽しい学校」

漢字は、「楽」ではなく「愉」を使っています。「愉」には、その辺や旁(つくり)から、そのときだけの満足ではなく、自分がよりよくなっていくこと、いわば「心の成長」を喜ぶ気持ちが込められている、と考えたからです。「楽しい学校」にするために、どの教科においても、生徒が「わかった」「できた」という授業を提供し、自ら学ぶ姿勢を身に付けさせなければならないと考えています。授業で学んだことから自分の目指したい進路が見つかることも期待しています。また、毎日の生活は「楽」なことばかりではありません。「心の成長」は壁を一つ乗り越えたときに得られるものです。自分の努力で乗り越えることができたときの達成感や喜びも「愉」に通じると思います。その努力をしっかり支えてまいります。

### 「安心できる学校」

どんな学校にしたいか、を考えると私は、かつて生徒会本部役員が語っていた「魅力ある学校、それは、人とのかかわりを大切にできる学校」という言葉を思い出します。学校では、生徒同士、教員や来校者など、必ず「人とのかかわり」がありますが、「大切にすると」はどのようなことか、それはとても広くさまざまです。その中で最も簡単で、だからこそ大切にしたいのが「あいさつ」です。「あいさつ」は、相手を認め、思いやる最も基本的な行為、そのあいさつが「いつでも どこでも 何度でも」交わされる学校が、「安心できる学校」につながると思います。

### 「誇りにできる学校」

自己満足ではなく、地域や保護者の方々から、「良い学校ですね。」という評価を得られたとすれば、それは誇らしいことです。よい学校になるためには、学校としての役割をしっかりと果たすことが肝要です。学校の役割は、社会の中で自分に合った役割を担い果たすことのできる人材を育てることであると考えます。職業体験学習、校外学習、その他、さまざまなボランティア活動など、地域(社会)とかかわる機会は、学校が学校の役割を果たすことができているか、を検証する場であると考え、今後も大切にしていきたいと思っています。本校では「あいさつ 礼儀 身だしなみ」に気を配ることで、どのような場面においても、また、高齢者から幼い子どもまで、どのような人と接する場面でも、快く受け入れてもらえるような生徒であってほしいと思っています。

これまで大切にしてきた御徒町台東中学校の校風を受け継ぎ、先輩がその背中で後輩を育てていける、そのような好循環のある学校にしていきたいと思っています。皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。